

# 統一的な基準による連結財務書類（平成28年度）

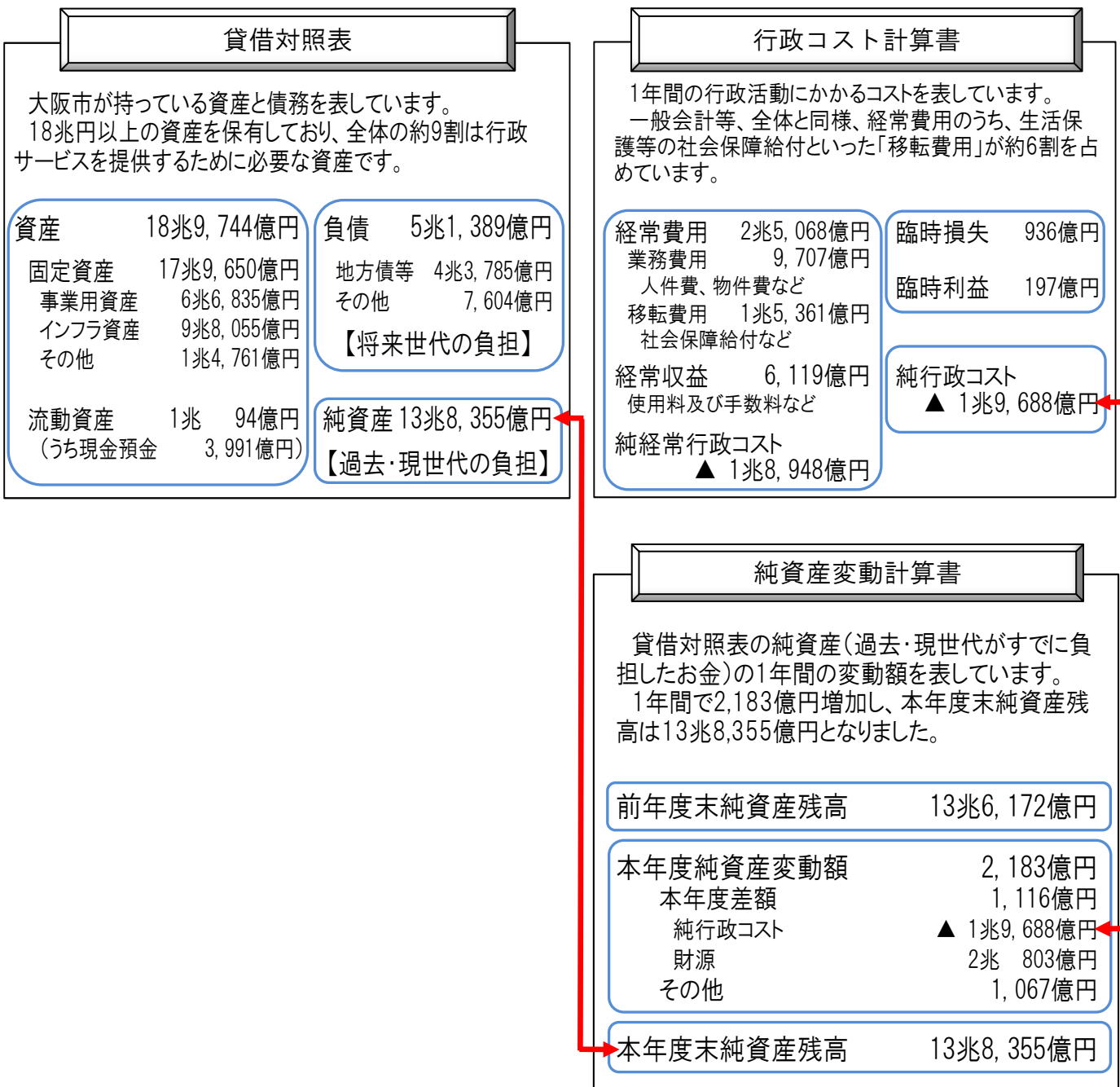
平成28年度 連結財務書類3表（統一的な基準）からわかったこと

大阪市の各会計及び地方独立行政法人や地方公社・出資法人等の大阪市関連団体を対象とする連結財務書類では、「資産」（貸借対照表）は、18兆9,744億円を保有していますが、同時に将来世代の負担となる「負債」（貸借対照表）も、「資産」の約3割にあたる5兆1,389億円を負っています。

また、1年間の経常的な行政活動を行うために必要となる費用である「純経常行政コスト」（行政コスト計算書）は、1兆8,948億円、市民1人当たり70万円でした。

資産	18兆9,744億円	(市民1人当たり)	702万円)
負債	5兆1,389億円	(	"
純経常行政コスト	1兆8,948億円	(	"
			190万円)
			70万円)

\*市民1人当たりの金額は、平成29年3月1日現在の本市推計人口（2,702,242人）を用いて算出しています。



\*金額は1億円未満を四捨五入しているため、内訳と合計が一致しない場合があります。